

2024 年度

ニチイキッズ富安保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 9 日（木）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月27日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもが好きな遊びを選び、主体的に活動できるよう、環境や玩具を工夫したり保育者がどう関わっていくか職員間で共有したりしながら保育を行った。子どもの興味や個々の育ちを把握したうえで子どもからの発想も取り入れながら遊びを設定し、子どもたちが思いっきりあそび、満足するまで楽しむことができるようにしていきたい。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの姿や発達の様子に合わせた関わりについて考えながら保育を行った。子どもがのびのびと過ごせる心地よい環境を提供し、信頼できる保育者との関わりにより自己発揮しながら園生活を楽しみ、心身の発達を援助することができるようにしていく。
保護者に対する支援	日々の子どもの様子や体調や成長の姿を詳しく伝えるよう心掛けた。また、安定した生活リズムや基本的生活習慣を身につけることができるように保護者の方との連携を取っていった。園の保護者や地域の子育て中の保護者に向けた子育て支援に関する情報発信をし、気軽に相談できる場所となるようにしていきたい。
保育を支える組織的基盤	子どもの発達について理解し、一人ひとりの子どもとの安定した関わりを持つための情報共有が大切であった。全職員で全園児について把握し、子どもが安心して過ごすことが出来るよう職員間の連携を密に取っていく。また、研修への参加を通して子どもの姿や発達への理解を深められるようにしていきたい。

総評
子どもが好きな遊びを思いっきり楽しむことができる保育計画を立て、遊びの環境や保育者の関わりを見直し、工夫しながら保育を行った。また、子どもの姿や思いを受け止めて丁寧に関わることで保育園が楽しく安心して過ごせる場所となるように心がけた。次年度も子どもの発達をしっかりと捉え、一人ひとりの子どもが今何に興味を持っているか、どのような関わりが必要なのかを考えて職員間で共有しながら保育を行いたい。保護者の方や地域との連携を大切にして共に子どもの育ちを支え、子育て支援を充実させていきたい。